

平成30年度当初予算 総額322億円

人が輝き、夢が生まれる 悠久と躍動のまち 四万十市

■概要

平成30年度当初予算は、市の基幹収入の一つである普通交付税が前年度予算から約3億5000万円減少する中、事業の緊急性や優先度を考慮し、厳選・重点化を図り、総合計画に掲げる市の将来像の実現に向け、予算編成を行いました。

一般会計においては、前年度比1.3%の減額、特別会計では5.6%の減額、企業会計では0.1%の減額となり、各会計間の重複額を除いた合計は3.0%の減額となりました。特に減額の大きい国民健康保険会計事業勘定は、22.0%の減額となっておりますが、これは、国民健康保険事業の運営について制度改正があり、県が中心的な役割を担うことになったことによるものです。

予算規模は、一般会計で201億4800万円、特別会計(14会計)で114億4078万円、企業会計(2会計)で29億7200万円、各会計間の重複を控除した総額は322億4971万円となります。

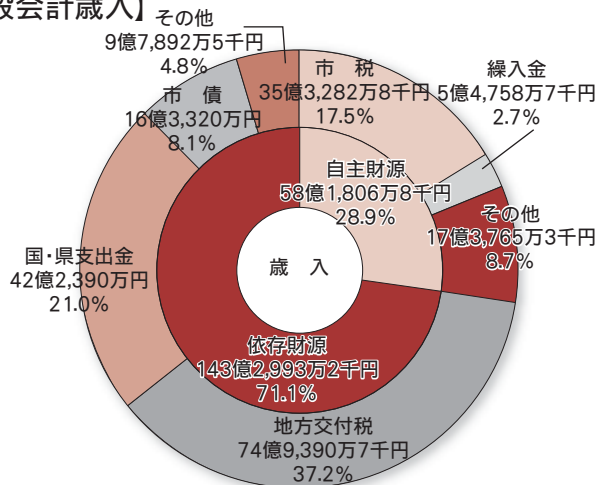
区分	平成30年度 予算額	伸率 (%)
一般会計	201億4,800万円	△ 1.3
特別会計(14会計)	114億4,078万円	△ 5.6
国民健康保険事業勘定	38億5,593万円	△ 22.0
国民健康保険診療施設勘定	2億8,830万円	7.3
奥屋内へき地出張診療所	444万円	△ 15.6
後期高齢者医療	5億1,737万円	2.8
下水道事業	8億6,792万円	2.6
と畜場	2億2,604万円	6.3
幡多公設地方卸売市場事業	208万円	△ 0.8
住宅新築資金等貸付事業	56万円	0.2
鉄道経営助成基金	8億5,507万円	42.4
農業集落排水事業	6,612万円	3.0
幡多中央介護認定審査会	929万円	34.7
介護保険保険事業勘定	40億1,952万円	3.3
簡易水道事業	7億1,307万円	△ 6.1
園芸作物価格安定事業	1,507万円	49.7
企業会計(2会計)	29億7,200万円	△ 0.1
水道事業	8億4,066万円	2.1
病院事業	21億3,134万円	△ 1.0
合計(各会計間の重複額除く)	322億4,971万円	△ 3.0

■一般会計

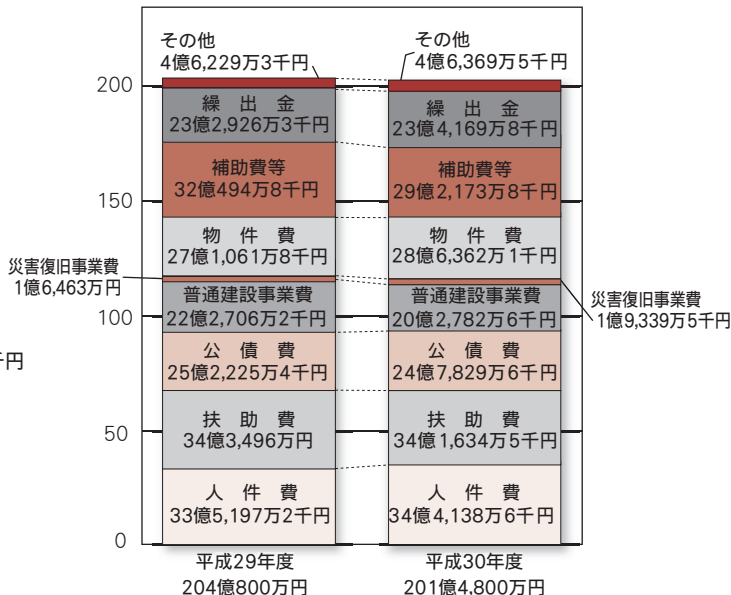
左のグラフは一般会計の歳入歳出予算の状況をまとめたものです。

歳入の性質別では、義務的経費である人件費、扶助費、公債費の合計は、前年度比0.3%の増額となっております。人件費は増額となっておりますが、扶助費、公債費は減少しています。普通建設事業費は郷土資料館の耐震化・大規模改修事業の完了や、都市防災推進事業を国の補正予算に伴い平成29年度に前倒しして実施することなどにより、8.9%の減額となっております。

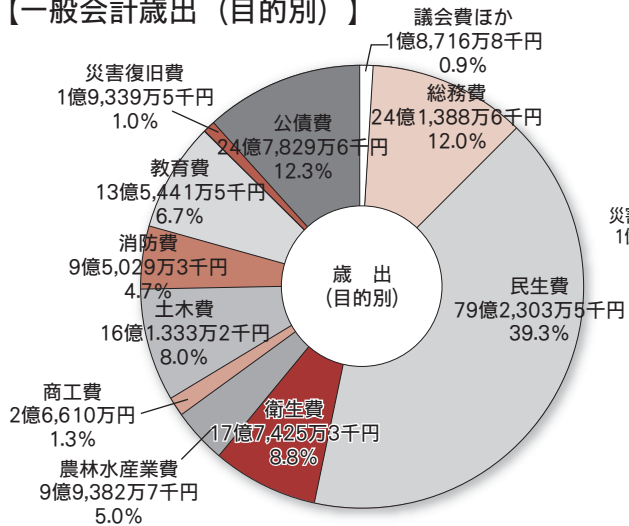
【一般会計歳入】



【一般会計歳出(性質別)】



【一般会計歳出(目的別)】



■主要事業など

総合計画に掲げる次の6つの柱について、主な事業や新規の事業とその予算額を掲載します。

※新は本年度新規の事業

自然と共生した安心で快適なまちづくり

地震津波対策事業【3123万7千円】

非常用食料の備蓄、指定避難所の環境整備事業などを行います。

住宅等耐震対策【1億5613万1千円】

住宅の耐震診断・設計・改修補助を行います。また、県の指定する緊急輸送道路等避難路の沿道建築物に対する耐震化補助を行います。

住宅用太陽光発電システム設置補助

【360万円】

市内住宅への太陽光発電システムの整備に対する補助を行います。

相ノ沢川総合内水対策【4919万6千円】

相ノ沢川、楠島川沿川の内水対策として、楠島放水路の排水施設等の詳細設計および相ノ沢川の支川である馬場川の浚渫を行います。

にぎわいと住みやすさのあるまちづくり

新 文化複合施設整備推進【803万円】

文化センターと中央公民館などを統合した施設の整備にあたり、基本計画の策定に着手します。

新 中心市街地にぎわい拠点施設整備

【742万3千円】

天神橋商店街の土曜銀行跡地に民間主導で予定している、飲食・休憩施設等を整備する費用の一部を補助し、中心市街地の活性化を図ります。

公共交通の維持【1億7549万9千円】

土佐くろしお鉄道(株)に対する経営助成を行います。また、路線運行バス運営費補助および車両購入補助、デマンド交通運行などを継続して実施します。

道路整備【8億977万2千円】

市街地・中山間地域の道路整備を引き続き実施するとともに、沈下橋の復旧や橋梁点検に取り組みます。

地籍調査【1億1490万9千円】

津波被害が想定される地域について優先的に事業を進めるとともに、中山間地域についても事業を実施します。

地域資源を活かした産業の力みなぎるまちづくり

産業振興推進総合支援【1679万7千円】

商品の生産段階から販売段階までの取組や観光産業の振興に資する取組を総合的に支援します。また、国の地方創生推進交付金を活用し、ぶしゅかんの普及推進などを引き続き実施します。

地域商社「西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業

【2071万3千円】

道の駅「よつて西土佐」を拠点とした、産地消・地産外商などを実施します。

新 産業祭【300万円】

市の産業振興による「産業のチカラ」を広く周知するため、地域の特色を活かした産業祭の実施に向けて支援します。

新 土佐の小京都中村550年祭

【1466万5千円】

一條公が下向して以来550年を迎えたことを記念し、各種イベントの開催やまんが冊子の作成などを予定しています。

新 栗暮 project【480万2千円】

楠地区の中村高校西土佐分校野球部グラウンド跡地を利用して栗の平場栽培を実証、奨励し、良質な栗の産地再生を図ります。

豊かな心と学びを育むまちづくり

学校支援地域本部【298万3千円】

学校と地域をつなぐコーディネーターを配置し、外部人材の協力を得て、学校・家庭・地域が連携して地域ぐるみで子どもを育む取り組みを行います。前年度は5校区で実施していましたが、本年度から全校区で実施します。

放課後等学習支援【256万2千円】

小中学校において、学力定着のため、放課後等に学習支援員を配置し、補充学習を実施します。

歴史観光資源等強化事業

【1028万4千円】

「志国高知 幕末維新博」の開催に合わせ、サテライト会場である中央公民館において「しまんと特別企画展」を継続して開催するとともに、各種資料の整理を行います。

新 児童虐待防止対策コーディネーター配置

【198万円】

児童虐待防止を目的として、専門機関等と連携し支援するコーディネーターを配置します。

新 具同小学校学童保育施設整備

【5532万6千円】

現在の施設では手狭であるため、学びの館の隣に新たに施設を整備し、31年度からの開設を目指します。

健康・福祉地域推進事業【3107万5千円】

まちづくり

健康・福祉地域推進事業【3107万5千円】
住み慣れた地域でいつまでも元気に安心して暮らすことができることを目指し、地域での健康づくりの取り組みを推進するとともに、高齢者等の見守り活動など、地域の連携強化を図ります。

新 保育所完全給食【904万4千円】

3歳児以上の児童についても主食を含む完全給食を実施し、家庭負担の軽減および保育の充実を図ります。

新 川崎保育所移転【3億8178万2千円】

山村ヘルスセンター跡地に整備する川崎保育所の本体工事に着手し、31年度からの開所を目指します。

協働で築く地域力のあるまちづくり

移住対策【2749万円】

人口減少に歯止めをかけるため、移住相談、移住後のフォロー、定住支援などのきめ細かな対応ができるよう引き続き移住対策を推進します。

また、移住希望者へ提供する住宅の改修費用の補助を行います。

地域おこし協力隊【3666万4千円】

中村地域2名、西土佐地域4名、道の駅「よつて西土佐」関係に3名を雇用し、中山間地域の活性化を支援します。

新 集落活動センター支援【120万円】

大宮集落活動センターの拠点施設に大宮米の予冷庫整備補助を行います。

